



あおい 2024

郡山市立守山小学校
令和7年3月12日
学校だより No. 22

「唯一無二」「ほんもの」
空気感を一変させる気迫とオーラ
— 菅野陽華先生による「書道パフォーマンス」 —

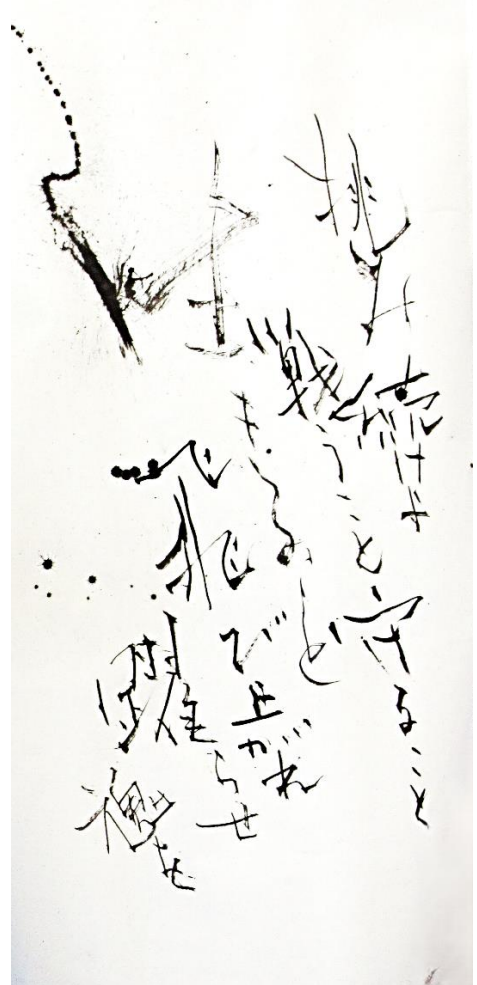
3月10日（月）の3，4校時目に、書道家の菅野陽華先生をお招きして、「書道パフォーマンス」を開催しました。

毎年、6年生が卒業を間近に控えた頃に足を運んでいただき、先生の書に対する考え方や人生観をうかがったり、実際に書を書いている姿を見せていただいたりしています。

今回は体育館が一体になるように、先生の作品がいくつか並べてありました。一つ紹介すると、14年前に起こった災害で感じた喪失感を木の幹に甲骨文字（漢字の祖先として遡ることができるもっとも古い文字。商王朝の晩期、紀元前1300年頃から紀元前1000年頃にかけて使われた文字）で表現していました。絶対に忘れることのできない痛みや苦しみ、絶望感が作品に込められていました。

先生は、子供達から「今思うこと」を聞いて、そこに込められた気持ちをおしはかります。言葉に見合う音楽をかけ、全員が呼吸を合わせた後、一気に筆を走らせました。

1作目は、子供達が持ち合わせている「しなやかさ」「柔軟性」と優しさを表していました。しかも、しなやかさが力に変わっていく様子も筆遣いにあらわれていました。



2作目は、1作目とは打って変わって、何事にも挑戦する固い決意と、一人一人のよさが大きく花開き世界に飛躍することを期待する先生の熱い思いが目一杯に表現されていました。



陽華先生の気迫とオーラに圧倒される子供達…